

## 研究テーマ

# 「思春期ピア・カウンセリングがピア・カウンセラー 及び受講者の親性準備性に与える影響」

## 研究室の紹介

当研究室では、妊娠・出産・育児に関わる女性の健康課題について、様々な面から探究していきたいと考えています。

## 主な研究テーマ

- 産婦ケアに関する研究
- 女性の健康に関する研究

## 主な担当講義科目

母子家族看護学特論、周産母子看護学特論Ⅱ、  
周産母子看護学演習Ⅱ、周産母子援助実習など

## 研究紹介

現在取り組んでいる研究課題は「思春期ピア・カウンセリングがピア・カウンセラー及び受講者の親性準備性に与える影響」です。思春期ピア・カウンセリングは、思春期の子ども達の自己決定力・問題解決能力を高める支援として、WHOを始め国際的レベルで高い評価を得ている方法です。また思春期のピア・サポートの推進は健やか親子21（第二次）の基盤課題Bにおける具体的な取組方策例の一つにもなっています。思春期ピア・カウンセリング活動はありのままの自分を認め受け入れること（自尊感情・自己肯定感）や、他者との違いを受け入れながらお互いを尊重して付き合うことの重要性などについて、思春期ピア・カウンセラーが思春期にある中高生とともに考える活動です。自尊感情・自己肯定感を高めることは親性準備性にも影響があると考え、今回この研究に取り組むことにしました。この研究は科学研究費助成事業にもなっています。この研究の成果は、学会や論文で発表していく予定です。思春期の子ども達の心身の健康を守り、促すための支援として、この研究を通してピア・カウンセリング活動の普及に努めていきたいと考えています。

## 大学院進学を希望する方へ一言

大学院では自ら研究課題を見出し、主体的に取り組む姿勢が求められます。また講義での課題に取り組むだけでなく、さらに自ら率先して学習する力が必要です。知力・体力・気力が必要ですが、その分得られるものも大きいと思います。